

科目ナンバリング										
授業科目名 <英訳>		日本語学文献講読論I Reading in the Document of Japanese Philology I				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 佐野 宏		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)			使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)			
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	火4		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向	
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)										
【授業の概要・目的】										
日本語の歴史記述の方法について概説し、基礎的な日本語史研究の知識を身につけることを目的とする。最初に日本語史研究の課題を掲げて概説し、その課題についての資料や論考を講読する。										
【到達目標】										
日本語史研究に関する基礎的な用語や問題点について、関連事項や関連作品とともに説明できること。										
【授業計画と内容】										
本講義は、各時代語の実際と概説、後期は分野別の日本語史研究について扱う。日本語史研究には日本文学史の知識が必須であるから、その時代の文学史についても概説を行う。										
<ol style="list-style-type: none"> 1 日本語史について(導入: 1回) 2 上代語概説・上代文学史(3回) 3 中古語概説・中古文学史(3回) 4 中世語概説・中世文学史(3回) 5 近世語概説・近世文学史(4回) 										
全14回で日本語史について概説を行う。概ね時代ごとに解説するが、音韻や文法などは通時的に観察すべきことについては、そのトピックスで各時代にわたって概説することがある。										
【履修要件】										
日本語史についての基礎知識が必要になるので、言学、 を受講していることが望ましい。										
【成績評価の方法・観点】										
講義期間の最終日に基礎的な事項の確認試験を行う(60%)。時折、講義中に小テストを行うほか、授業への積極的な参加度(40%)を総合的に加味して評価する。										
【教科書】										
小野正弘他 『ケーススタディ日本語の歴史』(おうふう) ISBN:4273032678 (テキストだけでは不足するので、プリントも併用する。)										
【参考書等】										
(参考書) 授業中に紹介する										
【授業外学修(予習・復習)等】										
前期は主として日本語史の枠組みと各時代の特徴を述べるが、プリントを配付して、課題を出す。課題に取り組む形で復習と予習ができるようにする。										
【その他(オフィスアワー等)】										
木曜日4限をオフィスアワーにあてる。会議等で不在の場合もあるから必ず事前に確認すること。										